

第70回全国高等学校PTA連合会大会島根大会概要説明

島根県高等学校PTA連合会

- 1 名称 第70回全国高等学校PTA連合会大会島根大会
- 2 期日 2020年8月19日(水)・20日(木)・21日(金)
  - ・大会前日(19日) 午後：諸会議(分科会別打合せ会議、全国事務局長会議、大会運営会議、レセプション)
  - ・第1日目(20日) 午後：研究協議(分科会6会場)
  - ・第2日目(21日) 午前：全体会(式典、講演等)
- 3 開催場所
  - ・全体会会場 松江市3会場  
くにびきメッセ(主会場)、松江市総合体育館(副会場)、島根県民会館(副会場)
  - ・分科会会場 松江市3会場(全体会会場に同じ)、安来市(安来市総合文化ホール)、雲南市(三刀屋文化体育館)、出雲市(出雲市民会館)
  - ・諸会議会場 ホテル一畑(分科会別打合せ会議は各分科会会場を予定)
  - ・レセプション会場 ホテル一畑
- 4 主催 一般社団法人全国高等学校PTA連合会
- 5 主管 島根県高等学校PTA連合会
- 6 後援(予定) 文部科学省、全国高等学校長協会、中国・四国地区高等学校PTA連合会、島根県、島根県教育委員会、松江市、松江市教育委員会、安来市、安来市教育員会、雲南市、雲南市教育委員会、出雲市、出雲市教育委員会、島根県公立高等学校長協会、島根県高等学校教頭・副校長協議会、島根県公立学校事務長会、島根県商工会議所連合会、島根県商工会連合会、各報道機関他
- 7 大会趣旨 (別添)
- 8 大会テーマ (別添)
- 9 参考 東京オリンピック(7月24日～8月9日)、東京パラリンピック(8月25日～9月6日)

島根県高等学校PTA連合会事務局  
〒690-0876 松江市黒田町538  
TEL (0852) 22-8602  
FAX (0852) 22-8735

## ■ 大会 テーマ

メインテーマ 「ご縁(えん)づくり」

サブテーマ ～いいご縁をつなごう世界へ、未来の子どもたちへ～

## ■ 大会 趣旨

島根県は、中国山地を背に隠岐諸島浮かぶ日本海を望む、東西約230kmの自然景観に富む県で、国宝「松江城」が町並みを見守る県都松江市は、明治の文豪小泉八雲が愛した落ち着いた街です。出土品が国宝に指定された「加茂岩倉遺跡の銅鐸群」、「荒神谷遺跡の銅剣群」は、弥生時代にこの島根に有力な地方政権があったことを表し、17世紀には世界有数の銀の産出量を誇った世界文化遺産「石見银山」の存在などの史実は、古(いにしえ)よりこの地から全国、そして世界へと産業・文化の、いわば人の「縁」をつないでいったことを物語り、県民は今でも「ご縁づくり」を大切にしている人情味豊かな県です。

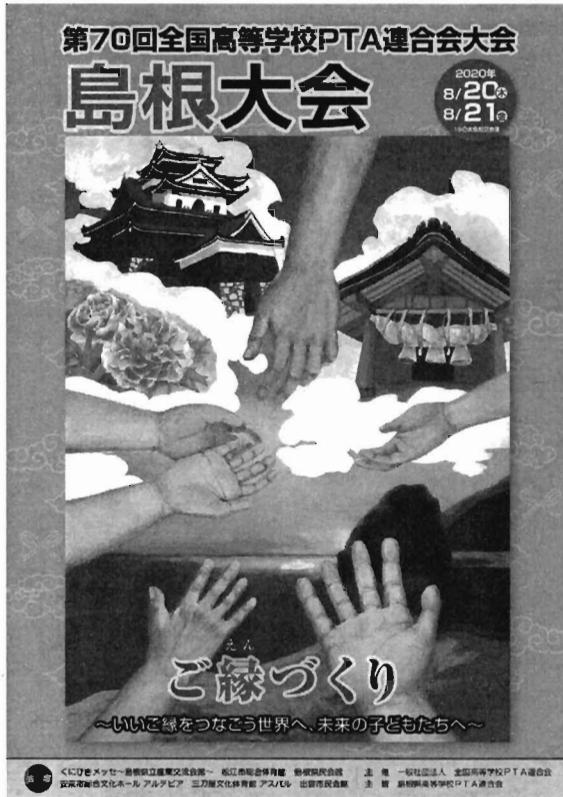
今、全国の多くの地方自治体は過疎化・少子化に直面しており、島根県でも少子化は公立高等学校の生徒数減少をもたらし、統合や廃校への危機感を募らせています。そんな中、隠岐諸島島前地区の高校が始めた県外からの生徒を迎え入れる「島留学」は、魅力ある教育プログラムの実施により、過疎地にして奇跡的な生徒数増加を実現しました。これを支援する島根県教育委員会は現在、県立高等学校を地域活性化の拠点として地域と連携して魅力化を進める「教育魅力化推進事業」を展開しています。

このように、少子化と地方創生が全国の地方都市では喫緊の課題となっている一方で、高等学校教育そのものにも改革の波が来ています。本年度から始まる「大学入学共通テスト」は高大接続改革の一環として行われ、より一層「思考力・判断力・表現力」が重視されます。新学習指導要領にある「主体的・対話的で深い学び」は、これからの激変していく社会環境に対応していくために、どのような視点で「生きる力」を高校生に培わせていくのかを問いかけています。その「生きる力」の主軸になるもの、それは子どもたちの高いコミュニケーション力やあふれる情緒であり、人との「ご縁」を広げ豊かな人間関係を築いていく力ではないかと考えます。

「神話の国」出雲地方では旧暦の十月を「神在月」と呼び、全国から八百万の神々が「出雲大社」を中心にこの地に集い、自然・人・ものなどあらゆる「ご縁」を話し合うと言われていました。全国の会員がこの縁結びの地島根で出会い、子どもたちの健やかな成長と高校教育を取り巻く諸課題の解決に向けて協議を重ね親交を深めていくことが、新たな「ご縁」を生み、私たち大人の「つなげる力」を一層強め、子どもたちが日本のみならず、世界へと豊かな「ご縁」を紡いでいくプラットフォームになることを願っています。

## 「島根大会」ポスター&シンボルマーク

### ● 大会ポスター



島根県立出雲高等学校

1年（平成30年度） 新野美琴

（作品の趣旨）

画面真ん中に向かって手を伸ばしていく構図にすることで「全国からPTA役員が集まり、縁を結ぶ」ことを表しました。稲佐の浜に夕日をバックとし、雲の中に松江城、出雲大社を描くことで島根県の名所いくつかが一目でわかるようにしました。また、県花の牡丹で華やかさを添えています。

### ● 大会シンボルマーク



島根県立出雲高等学校

2年（平成30年度） 若槻穂波

（作品の趣旨）

島根県の伝統工芸であるまが玉、「神話の国」出雲地方に伝わる「因幡の白兔」を描き、過去から未来へと伝わる島根の伝統を表現しました。また、叶結びを大きく描き、ひもを円に形作ることで、今回のテーマである「ご縁づくり」を表現しました。

# 会場位置図及び会場周辺図

